

| 第 1 回 倉敷市教育委員会議事録          |                             |      |         |
|----------------------------|-----------------------------|------|---------|
| 1 開催期日                     | 令和 2 年 1 月 2 3 日 (木)        |      |         |
| 2 開会及び閉会時刻                 | 開会時刻 1 4 時 閉会時刻 1 4 時 4 5 分 |      |         |
|                            |                             |      |         |
| 3 場所                       | 教育委員室                       |      |         |
| 4 出席者                      | 井 上 正 義                     |      |         |
|                            | 仁 科 正 己                     |      |         |
|                            | 難 波 弘 志                     |      |         |
|                            |                             |      |         |
|                            |                             |      |         |
| 5 会議に出席した事務局又は教育機関の職員の職 氏名 |                             |      |         |
| 職 名                        | 氏 名                         | 職 名  | 氏 名     |
| 教育次長                       | 川 原 伸 次                     | 副参事  | 三 宅 香 織 |
| 参 事                        | 加 藤 靖 之                     | 副参事  | 北 島 弘 之 |
| 参 事                        | 小 野 敏                       | 課長補佐 | 長 野 渉   |
| 部 長                        | 渡邊 俊 一                      |      |         |
| 部 長                        | 三 宅 健一郎                     |      |         |
| 参 事                        | 三 谷 育 男                     |      |         |
| 次 長                        | 三 木 宏 之                     |      |         |
| 副参事                        | 寺 内 隆                       |      |         |
| 6 教育長等の報告                  |                             |      |         |
|                            |                             |      |         |

|   |                             |        |                                  |
|---|-----------------------------|--------|----------------------------------|
| 7 | 議題                          | 議案第1号  | 平成30年度教育に関する事務の管理及び執行の点検及び評価について |
|   |                             | 議案第2号  | 倉敷市指定文化財の諮問について                  |
|   |                             |        |                                  |
|   |                             |        |                                  |
|   |                             |        |                                  |
|   |                             |        |                                  |
|   |                             |        |                                  |
|   |                             |        |                                  |
|   |                             |        |                                  |
| 8 | 議事の概要，質問した者の氏名及びその要旨並びに議決事項 | 別紙のとおり |                                  |
| 9 | 傍聴の状況                       |        |                                  |
|   | 公開                          | 傍聴人    | 1名                               |
|   | 議事録者氏名                      | 長野 渉   |                                  |
|   | 議事録署名委員                     |        |                                  |
|   | 教育長                         | 井上 正義  |                                  |
|   | 委員                          | 仁科 正己  |                                  |

教育委員会の概要 1 / 2 3 1 4 : 0 0 ~ 1 4 : 4 5

〈教育長〉 ただいまから、教育委員会を開催いたします。

ただいまのご出席は3名、会議は成立いたしました。

まず、前回12月19日開催の教育委員会議事録につきまして、各委員の皆様方におかれましては、内容をご確認いただきましたでしょうか。

〈各委員〉 はい。

〈教育長〉 前回の議事録につきまして、承認することにご異議ございませんか。

〈各委員〉 はい。

〈教育長〉 ご異議ないようですので、前回の議事録を承認することといたします。

ただいま、議案事項、議案第3号「代理の承認を求めることについて（市費職員の懲戒処分について）」及び議案第4号「県費負担教職員人事異動内申について」が提出されました。これを日程に追加し、議題とすることにご異議ございませんか。

〈各委員〉 はい。

〈教育長〉 ご異議ないものと認め、議案事項2件を日程に追加し、議題といたします。

〈教育長〉 次に議案第3号「代理の承認を求めることについて（市費職員の懲戒処分について）」及び、議案第4号「県費負担教職員人事異動内申について」は、倉敷市教育委員会会議規則第15条に基づき、非公開で最後に審議することとし、その他は公開としてよろしいでしょうか。

〈各委員〉 はい。

〈教育長〉 ご異議ないようですので、議案第3号及び議案第4号は非公開で最後に審議することとし、その他は公開とすることに決定いたしました。

本日の傍聴者は1名です。傍聴者は倉敷市教育委員会傍聴人規則に従って傍聴をお願いします。

〈教育長〉 それでは、審議に入ります。議案第1号「平成30年度教育に関する事務の管理及び執行の点検及び評価について」のご説明を、加藤参事、お願いします。

〈加藤参事〉 議案第1号「平成30年度教育に関する事務の管理及び執行の点検及び評価状況」についてご説明いたします。

この点検評価につきましては、前回の教育委員会で内容について協議させていただいた件でございます。内容については、前回お配りしたものと変更はございませんが、若干の言い回しや誤字の修正を行いました。なお、本日、ご議決いただきましたら、市議会へ提出するとともに、ホームページに掲載し、市民の皆様にも公表する予定でございます。ご審議のほどよろしく願いいたします。

〈教育長〉 ありがとうございました。それでは、ご質問等ございましたらお願いいたします。

〈仁科委員〉 中身そのものではないのですが、グラフとか、そういった部分の中でこれはもう点線が入っているんですが、30ページの『岡山県学力・学習状況調査の県平均正答率との差』のグラフも見方が変わるのでこういうふうになりますよ、とのことなんです。何かグラフに工夫が出来ないのかという気がしました。31ページのグラフもそうなんですけれど、『自主的に資質向上のために取り組んでいる教職員の割合』という形で、目標値がずっと上がっているのに横ばいをずっと続けているというのは、これは割合というので非常に答えが出しにくいことだと思いますが、少しずつ何か改善がみられたらなということだけは思いました。その他、69ページ、美術館や文化施設とか、すごく増えているものだと感じているんですけど、グラフ上にすると比率の関係なのか、そういう形にならないということで。分析とかで全部分かって

いるんですけども、何か工夫が無いものかなと思いました。これは内容については問うことではないんですけど、今後また、よく考えていかないといけないと思いました。

〈教育長〉 ありがとうございます。グラフについては、教育委員会独自のものもあれば、市全体のアンケートを基にしているものも多いですね。

〈加藤参事〉 評価指標につきましては、第6次総合計画に位置付けられている目標を持ってきているものもありますし、教育委員会で独自に設けているものもありまして、それに対する取組の指標を実績値としてグラフ化しております。

〈教育長〉 6次総合計画のも結構多いということですね。

〈加藤参事〉 そうですね。9年前に目標値を設定し、当時からすると統計の取り方が変わったりしてくると、30ページのように調査の結果が変わってしまうものをグラフとして棒線で繋ぐのはどうかという、御意見が昨年度にありましたので、破線を入れて、欄外には注釈をいれるような形に変更をしております。ご指摘にありました目標値に関しては、あまり成果が上がってないということにつきましては、目標として定めている以上は今後とも頑張っていきたいと思っております。69ページにつきましては、分析の3つ目にも書かせていただいているんですけど豪雨の関係があり、入館者数につきましては落ち込みが大きいかなということでございます。グラフについて何かもう少し検討できる余地があるのかどうか、こちらのほうでもまた考えていきたいと思っております。

〈教育長〉 ありがとうございます。

〈難波委員〉 9ページ、10ページ辺りを読んでも感じたんですけど、具体的にいろいろな取り組みをしてくださっているのは今年一年、教育委員としてこの会議に参加させていただいてよく感じました。この4月にまた学力テストのことも

記載されていましたが、感想としては平均点を上げていく一つの方法としては、平均点以上の子たちは充分家庭でも学習したり努力をしていると思うんですけど、平均点に達していない子どもたちはあまり勉強していない、家でもあまり言われない、その子たちの成績を上げることが次年度に向けて平均点を上げることと感じております。学童保育というものを各学校が取り組んでおりますけども、来年度に向けてそのこの部分の充実を少しお願いしたいと思っているのですが、その時間に上手に先生方が家に帰ってあまり勉強しない子どもたちを、学習の効果が上がるようないろいろな施策をしていただきたいと思いますところなんです。

〈教育長〉 ありがとうございます。学校教育部長、今のご意見で何かありましたら。

〈渡邊部長〉 ありがとうございます。本当に仰る通りで、倉敷市教育委員会としましては基礎基本の徹底というところをずっとやっております、小学校では徐々にその成果が出つつあるというところで、基礎がしっかりした子どもたちから表現力であるとか活用力であるとか、そういった力を伸ばしていくような段階へ進んでいけそうな段階にきているのかなと思っております。ただ、その中でもやはり、十分な学習環境に恵まれていない子どもたちもたくさんいますので、先生も仰ったような観点を現場の方も忘れないようにして、勉強ができるようになる喜びを味あわせることができるような学習指導を務めてまいりたいと思います。

〈教育長〉 ありがとうございます。私のほうからも、結構いろいろな良い取り組みをこのデータを見ると、例えば琴浦東小学校みたいに基礎基本を徹底的にやられたような学校もあるので、是非それを倉敷市全体でいろいろな形で広げていただけると非常にありがたいと思いますので、また是非よろしくお願い致します。

〈教育長〉 それではお諮り致します。議案第 1 号につきまして、可決することにご異議  
ございませんか。

〈各委員〉 はい。

〈教育長〉 ご異議ないようですので、議案第 1 号は可決することに決定いたしました。

〈教育長〉 続きまして議案第 2 号「倉敷市指定文化財の諮問について」のご説明を三宅  
部長、お願い致します。

〈三宅部長〉 生涯学習部三宅でございます。

議案第 2 号の「倉敷市指定重要文化財の諮問について」についてご説明いたします。委員会資料の 2 ページから 10 ページをご覧ください。この議案は、倉敷市真備町箭田の吉備寺（きびじ）が所蔵する単鳳環頭大刀柄頭（たんほう かんとう たち つかがしら）について、「倉敷市文化財保護条例第 11 条第 2 項」の規定に基づき、2 月 6 日に開催予定の「倉敷市文化財保護審議会」において市指定文化財に指定することを諮問することについて、議決を求めるものでございます。委員会資料の 3 ページから 10 ページにかけては、倉敷市文化財保護審議会の副会長であり、考古学を専門とする作陽音楽短期大学の澤田秀実（さわだ ひでみ）准教授が作成されました調書でございます。この度、諮問します文化財は、資料 2 ページの諮問する文化財以下 8 項目に記載していますとおり、倉敷市真備町箭田の吉備寺（きびじ）が所蔵する単鳳環頭大刀柄頭（たんほう かんとう たち つかがしら）2 点でございます。この 2 点は、明治 34 年に行われた箭田大塚古墳の発掘調査によって、ガラス製の小玉（こだま）やひすい製の勾玉（まがたま）、耳環（じかん）や馬具（ばぐ）などの副葬品とともに出土したものでございます。資料 6 ページをご覧くださいと、色や形状等がわかり易いと思います。3 ページからの調書にも記載されていますとおり、環頭大刀とは、刀全体に金や銀

で装飾を施した装飾大刀の一種で、柄頭の形が環状になっている大刀のこと  
でございます。主として6世紀代を中心とした古墳時代後期に多く見られる  
副葬品で、基本的には中央政権と深い関りをもつ有力者が所有し、その階位  
や職務を反映するものと考えられています。当該資料は、ともに柄頭のみで  
刀身部分を欠いていますが、当時の金工（きんこう）技術や装飾大刀の生産  
体制を考えるうえで重要な考古資料であり、また、箭田大塚古墳の被葬者を  
探るうえでも欠くことのできない貴重な資料と結論づけられています。この  
調書を受け、2ページ項番8に記載していますように、6世紀当時の下道（し  
もつもち）郡と中央政府の結びつきを窺うことができる数少ない資料であり、  
かつ岡山県ではこれまでに、総社市のこうもり塚古墳から1点、赤磐市の岩  
田14号墳から2点のみが出土しているもので、貴重かつ重要な考古資料と  
評価できることから、倉敷市指定重要文化財に指定したいと考えております。  
ご審議のほどよろしく願いいたします。

〈教育長〉 ありがとうございます。それでは、ご質問等ございましたらお願いいたし  
ます。では、私のほうから。吉備寺という宗教法人が所蔵されているんです  
が、箭田大塚古墳は吉備寺の所有になっているんですか。

〈三宅部長〉 何故、吉備寺の所有になったのかというと、実は分からないんです。

〈教育長〉 珍しいですね、これ。

〈三宅部長〉 他にも、東京の博物館にもあるのですが、理由は分からないと。

〈教育長〉 実態は、この寺にあるから所有、という。

〈三宅部長〉 おそらく、近くにあるお寺で預かってもらおうってことがあったのかもしれ  
ませんし。100年前に発掘で出てきたものなので、いつごろから吉備寺に  
あるのかも分かっていないと。

〈教育長〉 吉備寺で公開展示なんかはされているんですか。

〈三宅部長〉 されていません。

〈教育長〉 例えば、指定した場合は埋蔵文化財センターで展示をするとか、そういったことは。

〈三宅部長〉 指定文化財は個人所有の物がたくさんありますので。それを展示するのなかなか無理があるというのも事実です。指定はさせていただくのですが、吉備寺ですので、見せていただきたいという話になれば向こうのご都合もあると思うのですが、場合によっては対応してくれるのかなと。例えば、特別展示会のようなことを考えておられるかどうかは分かりませんが、指定されたから、例えば美術館とか埋蔵文化財センターに寄贈しましょう、というものではありません。

〈教育長〉 分かりました。他はよろしいでしょうか。

〈教育長〉 それではお諮り致します。議案第2号につきまして、可決することにご異議ございませんか。

〈各委員〉 はい。

〈教育長〉 ご異議ないようですので、議案第2号は可決することに決定いたしました。

〈教育長〉 続きまして、協議事項に入ります。協議第1号「令和2年度全国学力・学習状況調査への協力及び令和2年度岡山県学力・学習状況調査への参加について」のご説明を渡邊部長、お願い致します。

〈渡邊部長〉 委員会資料の11ページをご覧ください。「令和2年度全国学力・学習状況調査への協力及び令和2年度岡山県学力・学習状況調査への参加について」ご協議願います。

この調査ですが、目的は（１）のとおり、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題の検証、改善、また、学校における指導の充実等を図るものです。（２）の実施期日は、令和2年4月16日

(木)です。(3)実施方法は例年通りの全数調査で、(4)の実施学年及び教科ですが、小6が「国語」「算数」「質問紙調査」で中学校が「国語」「数学」「質問紙調査」となります。次に、2の令和2年度岡山県学力・学習状況調査ですが、(1)の目的のもと、全国調査と同じ4月16日に実施します。実施学年及び実施教科は、(4)のとおり、小3、小4が国語、算数、小5が国語、算数、質問紙、中1が国語、数学、質問紙、中2が国語、数学、英語、質問紙調査です。全国調査については実施の協力について、県調査については参加の意思について岡山県教育委員会への報告を求められています。倉敷市教育委員会といたしましては、この調査が、学力の向上や施策・取り組みの改善には有効であると認識しており、これらの調査と市の調査を組み合わせる形で経年変化の分析にも活用してきております。そして、これまでもこの調査には協力・参加を継続してきているところでありますので、今回も協力・参加という意思表示をしてもよろしいでしょうか。ご協議のほどよろしくお願いします。

〈教育長〉 ありがとうございます。それでは、ご質問等ございましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。

〈教育長〉 参加することに、特にご異議はないでしょうか。それでは例年通り参加していただくという形で、よろしくお願いします。

〈教育長〉 続きまして、報告事項に移ります。「令和元年度人権問題講演会（倉敷市・倉敷市教育委員会主催）の開催について」のご説明を小野参事、お願いします。

〈小野参事〉 令和元年度人権問題講演会についてのご案内をさせていただきます。案内のちらしをご覧ください。

倉敷市と倉敷市教育委員会では、「その人らしさが尊重され、人権が守られ

る社会を築いていくためには、何よりも市民の方一人ひとりが人権問題についての理解を深め、その解決のために取り組むことが重要である」との考えから、毎年市民の皆様を対象とした人権問題講演会を開催いたしております。本年度は、小説家の京極夏彦（きょうごく なつひこ）さんを講師にお迎えして、「畏怖（いふ）と同化（どうか）の狭間（はざま）にあるもの」と題して講演いただきます。畏怖とは、恐れおののくという意味ですが、講演では、畏怖（いふ）の象徴的な概念としての妖怪（ようかい）を題材に、人間が不思議に思い、恐れを感じ、排除につながっていく理由などについてお話をさせていただく予定でございます。開催日時は2月22日（土）、13時30分開場、14時開演で、会場は倉敷市芸文館ホールです。定員は800名です。入場は無料ですが、事前申し込みによる入場券が必要となります。すでに申し込みは締め切っており、定員を上回る方に申し込みをしていただいているそうです。教育委員の皆様には、入場整理券を御用意させていただきましたので、委員様ご自身で講演会に行ってくださいか、あるいは、御家族・お知り合いの方に行ってくださいなど、有効に御活用いただけたらと思っております。なお、お車でお越しの場合は、市役所の職員第一駐車場に駐車していただくか、公共交通機関等でご来場ください。以上、「人権問題講演会」について、ご案内させていただきました。

〈教育長〉 ありがとうございました。それでは、ご質問等ございましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。

〈教育長〉 それでは続きまして、「令和元年度倉敷市立中学校における授業実施状況について（指導課）」のご説明を渡邊部長、お願いします。

〈渡邊部長〉 教育委員会資料12ページをご覧ください。前回の委員会で、平成30年度の倉敷市立中学校における授業実施状況について御報告しましたが、この度、

今年度、令和元年度の実施状況について２学期末までの状況がまとまりましたので御報告するものです。

１の「実施総授業時数について」をご覧ください。中学校の年間の標準授業時数はどの学年も各教科合わせて１，０１５時間です。本市では年間の教育課程を、中学１年と２年では今年度は４４週間で計画をしております。中学３年生は卒業式が早い分、４２週間で計画をしています。そのうち、１２月の２学期末までの週数は３２週です。そこで、１，２年生では、１，０１５時間に３２週／４４週の０．７２をかけた時間数の７３１時間が２学期末までに実施しておくことが望ましい授業時数となり、３年生は同様の計算で７７２時間が、実施が望ましい時数となります。そのうえで、（２）の各中学校の状況の表をご覧ください。どの中学校も１，２年も３年もそれぞれ７３１時間、７７２時間を超える総授業時数となっており、今年度は順調に教育課程の実施ができている状況です。この授業時数は、各校のすべての学級の状況を調査し学年で平均をとったもので、小数以下は切り捨てとしている数値です。３年生はこれまで申しておりますように、年間の週数が１，２年と比べて２週間短く時数管理が厳しい中、７７２時間に近い時数の学校もありますが、２学期末で不足はしていない状況で各校が授業時数の確保に努めていることが表れているものと思っています。２の「各教科の実施授業時数」の表は、各学年、各教科の１２月末時点での実際の授業時数のうち、最も多かったものと最も少なかったものを示しています。表の一番右の欄は、年間のそれぞれの教科の標準授業時数です。例えば、中１の国語は、年間の標準授業時数は１４０時間で、そのうち最も多く授業を行っていた学校は１２０時間実施しており、最も少なかった学校は９５時間であったということです。見ていただくとお分かりのように、学活や総合では、どの学年でも１２月末

で年間の授業時数を上回っている学校があります。逆に、最小値だけを見ると、冒頭に申しました2学期末の望ましい授業実施率に達していない教科も多数あります。これは、学活は年度初めに学級体制づくりのために集中的に実施をすることが多かったり、総合は学校が設けるテーマによって集中的に実施する時期が異なるなどの事情によるもの、及び、体育会、文化祭の時期には体育や音楽の時数が集中したりすることなどにより、すべての教科が平均的に実施されていないことによるものです。ですから、実施時数が少ない教科のある学校は逆に多く実施している教科もあるということになります。各学校では、今後は年度末に向けて、各教科とも標準時数に達することができるよう、時間割変更等により、実施時数が少ない教科の授業時数を補い、すべての教科で標準時数をクリアしながら生徒の学力保障に努めていくこととなります。そして、13ページにありますように、今年度からはすべての学校において授業実施状況をHPやPTA総会、学校評議委員会や外部評価の資料等とするなど積極的に公表することとしております。また、教育委員会としましても、学校管理規則を改正して、教育課程の計画の報告だけでなく実施後の状況についても各学校から報告を求めていき、集約したものを教育委員会としましてもHPで公表したり、教育委員会に御報告したいと考えております。以上、御報告します。

〈教育長〉 ありがとうございます。それでは、ご質問等ございましたらお願いいたします。

〈難波委員〉 予定通り授業が実施できて、現場の先生方の努力に感謝いたします。1つ、お願いしておきたいのが、今、インフルエンザがかなり流行ってきていて各学校で学級閉鎖が行われている状況で、2009年の新型インフルエンザが流行以後、早めに、長めに、学級閉鎖をする方向にはなってきております。

新型以降、仕方ない面もあり学校医と学校長との判断でやっているんですけど、長めに休むことがありますのでそのあたりを考慮しながら、是非、余裕をもってやっていただければ良いと思いますので、今後ともこういう形でやっていただければと思います。

〈教育長〉 よろしいでしょうか。

〈教育長〉 続きまして、「令和元年度よい子強い子表彰式について」のご説明を渡邊部長、お願いします。

〈渡邊部長〉 教育委員会資料 14 ページをご覧ください。令和元年度よい子強い子表彰式についてご報告します。

この事業は、5 その他の（1）にあるように、「よい子いっぱいのみち倉敷」を目指して設立された「倉敷市よい子いっぱい基金」の事業として、将来の倉敷、さらに日本を背負って立つ立派な青少年を育てたいという願いから昭和 60 年から行っている表彰事業です。今年度の表彰式は 2 月 7 日（金）の 14 時 30 分から市庁舎 10 階大会議室で行います。表彰対象は、奉仕活動等で日常生活で他の模範となるもの、人命救助等の特別な善行があった個人・団体、運動等の各種協議会等で優秀な成績を残した個人・団体が表彰対象で、今年度の表彰対象者は、3にあるように個人 54 名、団体 31 団体が表彰される予定となっています。なお、平成 27 年度から基金寄付者を招待しており、現時点で 10 名程度の方がご出席いただける予定です。

〈教育長〉 ありがとうございます。それでは、ご質問等ございましたらお願いいたします。

〈教育長〉 続きまして、「令和元年度こころの劇場倉敷公演について」のご説明を渡邊部長、お願いします。

〈渡邊部長〉 令和元年度「こころの劇場」倉敷講演についてご報告いたします。教育委員

会資料15ページをご覧ください。

この「こころの劇場」事業は、子どもたちの心に生命の大切さ、人を思いやる心、信じあう喜びなどを舞台から語り掛けたいという趣旨で、劇団四季が日本全国の子どもたちに演劇の感動を届けるプロジェクトで、倉敷市では今回が11年目となります。倉敷市の小学校にもすっかりと定着し、小学校6年生の時の市内の6年生全員の共通体験にもなっています。今回の公演日時は、2月3日（月）と2月4日（火）の2日間で3回の公演を行い、市内の63小学校のうち、複式校の沙美小、南浦小の6年生は昨年度5年の時に鑑賞しているので今年は参加しません。また、霞丘小は6年生の在籍がないため参加をしません。残りの60校に、倉敷支援学校小学部の6年生を加えて61校の6年生と引率教諭等、約4,950人が鑑賞します。今年の演目は、ミュージカル「カモメに飛ぶことを教えた猫」です。チリの小説家、ルイス・セペルベタの同名の児童小説を原作として、成長期のこどもに「から」を破って一歩踏み出すことの大切さを教える作品です。3回の公演がありますので、委員の皆様におかれましてもいずれかの会にご都合がつくようでしたら指導課か私にお知らせいただければ席をご案内いたします。どうぞよろしくお願いします。

〈教育長〉 ありがとうございます。それでは、ご質問等ございましたらお願いいたします。

〈教育長〉 続きまして、「令和元年度卒業式及び令和2年度入学式の日程について」のご説明を渡邊部長、お願いします。

〈渡邊部長〉 16ページをご覧ください。令和元年度卒業式及び令和2年度入学式の日程についてご報告します。

昨年度、卒業式については、真備地区の被災の関係で変則的な設定になって

いるところがありましたが、今年度は真備地区の学校園の復旧も進みまして、どの学校園も本来の場所で高校を除いて校種ごとに同じ日にちで卒業式、入学式・入園式が実施できる予定です。卒業式については幼稚園が3月18日の水曜日です。小学校は3月19日（木）に実施します。中学校は3月13日、金曜日です、特別支援学校は小・中学部が3月18日（水）、高等部が3月5日（木）です。高等学校については、5校が3月2日（月）、3日（火）の2日間で実施します。修了式、令和2年度始業式は表のとおりです。入園、入学式は日にちが早い方から、4月9日（木）に小学校、特別支援学校小・中学部及び高等部、精思高校、市立玉島高校、真備陵南高校。4月10日（金）に中学校、市立工業高校、4月13日（月）に幼稚園が実施します。また、卒業式にはご多用の折ですがご出席いただき、告辞をいただきたいと思いますのでどうぞよろしくお願いいたします。

〈教育長〉 ありがとうございます。それでは、ご質問等ございましたらお願いいたします。

〈教育長〉 続きまして、「真備地区の通学状況について」のご説明を渡邊部長、お願いします。

〈渡邊部長〉 教育委員会資料17ページをご覧ください。最新の「真備地区の通学状況」について御報告いたします。

真備地区の被災した学校園の復旧が徐々に進みつつあり、1月8日には、川辺小学校が修復された校舎において教育活動を再開し、今後、2月から3月にかけて箭田小学校、真備中学校、真備陵南高校、川辺幼稚園、箭田幼稚園も元の校舎、園舎に戻っていく予定としておりますが、川辺小が戻った1月8日時点での、小・中学校の通学バスの利用状況について御報告するものです。上段の表は、昨年度の10月、プレハブ校舎で授業を再開した時点での

バス等の利用状況です。6小学校2中学校の児童生徒併せて1,080人が利用していました。これは、当時の在籍児童生徒数1,794人の約60%にあたります。この1,080人をバス、大型・中型を併せて31台とジャンボタクシー・タクシー併せて18台で運んでいました。それが、下段の表の先ほど申し上げた川辺小が元の学校にもどった今年の1月8日の時点では、5小学校2中学校の児童生徒513名までに減少しています。これは、現在の児童生徒数1,775人の約29%になっています。バス等の台数もバスが計17台、タクシー等が15台と人数、バス台数ともに半減近くとなっています。バス利用者の減少は、みなし仮設住宅等で生活されていた方々が元の生活地域に戻って来られる中で徐々に減少していましたが、今回の川辺小のように、学校が復旧することは元の学区内に戻ってきていた児童生徒がプレハブ校舎がある学校までバスを利用しなくてよくなるという点でも大きな利用者数の減少につながるようになります。ですので、今後、箭田小、真備中が元の場所に戻った際には、さらにバス等利用者は減少することが予想されます。3月の委員会では、箭田小、真備中が移動したのちの利用者数について改めて御報告いたします。

〈教育長〉 ありがとうございます。それでは、ご質問等ございましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。

〈教育長〉 続きまして、「令和元年度倉敷市成人式の実施結果について」のご説明を三宅部長、お願いします。

〈三宅部長〉 委員会資料18ページをご覧ください。

令和元年度倉敷市成人式の実施結果についてご報告いたします。

心配していた雨も全く降らず、予定通り令和2年1月12日(日) 11時から成人式を開催することができ、市内に住民登録をしている5,181名の

うち3,003名,そして市外に在住している204名の参加がありました。  
毎年のことながら,地域の団体や少年団,警察など,大勢のご協力をいただきながら,今年も無事に式を終えることができ,本当にありがたいことと思っています。来年もまた,新成人と一緒に,よりよい成人式となるよう取り組んでまいりますので,よろしくお願いいたします。

〈教育長〉 ありがとうございます。それでは,ご質問等ございましたらお願いいたします。

〈難波委員〉 58パーセントという数字は例年に比べてどうなのかなと感じたのと,久しぶりに成人式に出たのですが,中に入っていない子どもたちも結構いました。それから,3,003名というのは受付に来て手続きをした人の数ですか。受け付けしない人は入っていないのか,それがどうなのを感じた次第です。

〈三宅部長〉 平成26年から大体3,000人を超えたところを上下しているところです。受付につきましては,入場券をお配りしておりまして,入場券のもぎりをした方,もぎった後に入られているかは別なんです,入られているという前提で3,003名となっています。毎年なのですが入られない方もいらっしゃるしまして,終わるまで外にいらっしゃる方もいらっしゃるようなので,中に入ってくださいと声掛けはするんですが,そこは新成人の意思におまかせしているところでございます。毎年このくらいの数字が実態です。

〈難波委員〉 結構たくさん出席されるのだなと感じました。

〈教育長〉 よろしいでしょうか。

〈仁科委員〉 大体,座る場所というのは中学校単位とか,そういった形で座られる中で,一人ぼつんという方が,今まであまり気になったことは無いんですけど,意外といらっしゃって,どうしたのかなと思っていて。それはそれとして。今後いつかの段階で,成人式の日程の問題だとか,年齢の問題だとか,多分い

ろいろなことが出ると思うのですけど、今回の場合でいうと、終わった後の行動というのはどういう行動をされているのか、ちょっと興味があります。そういうことで追いかけていることがあれば、もしあれば教えていただきたいと思います。これから年齢が変わるか変わらないかの議論だとか日にちの議論だとか、いろいろな形のなかでどうなのかなと。

〈三宅部長〉 当日、裏の方におりましたので座っているところが見えなかったのですが、一人ぽつんとおられる人に気づいていなかったのですが、ひょっとすると市外の方かもしれません。成人式の、成人年齢の引き下げについてですが、社会教育委員会で昨年から議論しているところです。来年度中には、開催年齢をまず決めて、その後に開催日とか会場とか諸々のことを決めていくことになっております。決まり次第、順次ご報告ということになっております。今のところ、全国的には20歳が多いと。ただ、18歳、19歳で行う市町村もあるという状況でございます。恩師交流というイベントがあるのですけど、毎年、旗をたてて、何々中学校はここですよと示し、地図をお渡ししてここなんですよということで、済み次第、皆さんがいつせいに動くので混雑するんですが、最初に倉敷地区の（ナントカ）中学校さん行きますよ、というところまではやっていません。席で待っていただくというのもありますし、整理が上手くいけば怪我もなくきちんと移動できるかなと。なにか良い方法があれば考えてみたいと思います。今までの移動の際に事故が無いのは幸いなことです。走って外に出ていくということはまずないので、そういう事故は無いとは思いますが。

〈教育長〉 ありがとうございました。

〈教育長〉 続きまして、「第41回倉敷市こどもまつりについて」のご説明を三宅部長、お願いします。

〈三宅部長〉 委員会資料に添付していますチラシをご覧ください。

「第４１回倉敷市こどもまつり」の開催についてご報告いたします。開催日は、２月２日（日）午前９時１５分から午後３時まで、場所はライフパーク倉敷でございます。様々なイベントや発表を通して、市内の子ども会、ボーイスカウト、ガールスカウト、スポーツ少年団各少年団体の交流を深めるとともに、その活動を一層活発にすることを目的としており、毎年、多くの子どもたちが参加してくれています。開催チラシの裏面には会場の見取り図やイベント情報を掲載しております。ワークショップでは１８の団体が様々な遊びや体験を用意しているほか、スタンプラリーも行い、子どもたちが１日楽しむことができるイベントでございます。時間がございましたら、委員の皆様にもご参加いただければと思います。

〈教育長〉 ありがとうございます。それでは、ご質問等ございましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。

〈教育長〉 続きまして、「第３１回倉敷っ子なかよし作品展及び第３４回倉敷っ子美術展について」のご説明を三宅部長、お願いします。

〈三宅部長〉 委員会資料に添付していますチラシをご覧ください。

まず「第３１回倉敷っ子なかよし作品展」の開催についてご報告いたします。今回で第３１回目の開催となる倉敷っ子なかよし作品展では、小・中学校の特別支援学級の子どもたち、そして特別支援学校の子どもたちの作品、約３千点を展示いたします。会期は、１月２１日（火）～２６日（日）の７日間でございます。個性が輝く作品を多くの方に鑑賞していただきたいと思っておりますので、多方面への周知についてご協力いただければ幸いです。また委員の皆様におかれましてもお時間があれば是非ご来場くださいますようお願いいたします。続きまして「第３４回倉敷っ子美術展」

の開催についてご報告いたします。今回で第34回目の開催となる「倉敷っ子美術展」では、小・中学校の子どもたちの作品、約1万点を展示いたします。今回の会期は1月31日（金）～2月16日（日）でございます。先程ご説明しました、「第31回倉敷っ子なかよし作品展」と合わせて、多方面への周知についてご協力いただければ幸いです。また委員の皆様におかれましてもお時間があれば是非ご来場くださいますようお願いいたします。

〈教育長〉 ありがとうございます。それでは、ご質問等ございましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。

〈教育長〉 以上で非公開案件を除く議題は終了いたしました。他に何かありましたら。

〈教育長〉 何もないければ、議案第3号及び議案第4号を非公開で行いたいと思います。関係者以外の方はご退席をお願いいたします。ありがとうございます。